

#19 すべてを含むキリストは、神の選びにしたがって聖徒たちに割り当てられた分け前であり、神聖な嗣業として、彼らの享受となる(民数記結晶の学び)2019/9/30-10/6)

I. すべてを含むキリストは、良き地によって予表され、この地の中で、私たちに欠けるものはありません:

申8:9 あなたが欠けることなくパンを食べる地であり、あなたはそこで何も欠けるものはない。その地の石は鉄であって、その山々からは銅を掘り出すことができる。

A. 聖徒たちに割り当てられた分け前としてのキリストは、嗣業の割り当てられた分を指しており、それはイスラエルの子たちに彼らの嗣業のために与えられた、カナンの良き地の割り当てられた分によって例証されています:**コロサイ1:12** 光の中で、聖徒たちに割り当てられた分け前にあずかるように、あなたがたを資格づけてくださった御父に、感謝をささげるように。**1.** 新約の信者たちの嗣業は、物質の土地ではなく、すべてを含むキリストです。彼は私たちの嗣業の担保です。**2.** 彼は聖徒たちに割り当てられた分け前であり、私たちの神聖な嗣業として、私たちの享受となります。

B. 神の意図は、彼の民を良き地へともたすことであり、良き地は目標としてのキリストを予表します。旧約で、神の民は行程を行き、そして目標に到達しましたが、新約で、私たち信者は、キリストの中へとバプテスマされており、すでに目標にいます。

C. 今日の良き地は、すべてを含む霊としてのキリストであり、彼は私たちの霊の中に住んで、私たちの享受となっています。この霊にしたがって歩くことは、新約における中心的で極めて重要な点です:

1. コロサイ2:6~7が啓示しているのは、良き地としてのキリストが、私たちが根ざしている豊富な土壌であり、それは私たちが、土壌から吸収する要素を持って成長するためであるということです。**コロサイ2:6-7** それで、あなたがたはキリスト、主なるイエスを受け入れたのですから、すでに彼の中に根ざしており、そして建造されながら、また教えられたように信仰において堅固にされながら、感謝にあふれて、彼の中で歩きなさい。

19 かしらに結び付いて…この方から、からだ全体は、節と筋によって豊かに供給され、結合され、神の増し加わりによって成長するのです。(水曜日の御言葉)

2. 私たちはキリストの中に根ざしているなら、自然にキリストの中で歩きます。すなわち、キリストの中で生き、活動し、行動し、存在します。**3.** キリストの中に深く根ざすようになる唯一の道は、主と接触し、多くの祈りをもって御言の中で彼と共に時を過ごすことです。私たちはまず下に向かって成長し、そして上に向かって実を結びます。

4. 私たちはキリストの中で歩くとき、キリストの中で建造されてキリストを生かし出します。このようにキリストを生かし出すことは、キリストの団体の表現、すなわち召会生活を生み出します。**5.** 毎朝私たちは十分な時間を取って、主を吸収する必要があります。十分間でも良いのですが、毎日の新しい日の開始に三十分間を費やして、彼を享受することが最も良いのです。私たちは朝、時間を費やして主と接触し、そして一日中、霊の中にいるとき、土壌としてのキリストの豊富を自然に私たちの中へと吸収します。

6. 私たちは時間を取って、すべてを含む地としての主を享受しなければなりません。それは、豊富な土壌としてのキリストのすべての要素が、私たちの中へと吸収され、私たちが経験の中で、彼にあって満ち満たされるためです:

a. 私たちは土壌としてのキリストの豊富を吸収しようとするなら、柔らかく、新しい根を持つ必要があります。私たちは自分自身を老化させるべきではなく、毎日、新鮮で新しくされ

るべきです。**b.** 私たちは自分の環境、自分の状態、自分の失敗、自分の弱さを忘れ、ただ時間を取って主を吸収する必要があります。それは、私たちが彼の中で建造されて、彼のからだを建造し、彼の団体の表現となるためです。 **月火**

II. 民数記は、良き地の分配をあらかじめ案配することを啓示しており、それは神の選びにしたがって豊富なキリストに対する享受を分け与えることを予表します:

A. 良き地は二つの海(地中海と死海)と一つの川(ヨルダン川)に囲まれています。この二つの海と川はすべて、キリストの死を表徴します。

B. これが示しているのは、キリストに対する享受が彼の死と密接に関係しているということです。キリストに対する享受は、彼の死の範囲、領域になければなりません。**ピリピ3:10** キリストと彼の復活の力と彼の苦難の交わりとを知り、彼の死に同形化されて。

C. 良き地が、両側の隣接する水から隆起しているのは、それが高く上げられ、引き上げられた地であることを示しています。これが表徴するのは、復活し昇天したキリスト、天的なキリストが、彼の復活の中で私たちの中へと入っており、私たちが彼の昇天において彼の豊富を享受するということです。**コロサイ3:3** なぜなら、あなたがたは死んだのであり、あなたがたの命は、キリストと共に神の中に隠されているからです。

D. 神が約束した地を、ルベンとガドが受けることを要求したことは、間違いではありませんでした。しかしながら、彼らは、最上と思って彼らを選択したことにしたがって、この約束を受けることを願ったのは、正しくありませんでした:

1. 最終的に、彼らの地は、東からの異邦人の侵略者によって奪い取られた、イスラエルの地の最初の部分でした。途中でとどまって、神からのわずかの祝福だけに満足している人たちは、容易に敵に捕らえられるでしょう。

歴代上5:26 イスラエルの神は、アッシリアの王…の霊…を奮い立たせられた。彼はルベン人とガド人とマナセの半部族を捕囚として連れ去り、

2. 霊的な事柄においては、自分の選択にしたがって行動しないで、物事を主の御手にゆだね、主の選択にしたがって彼に行なっていただくほうがよるかに良いのです。

3. ルベンとガドが要求した地は、ヨルダン川を渡ることなく到達することができました。ヨルダン川を渡らないことは、古い人が対処されず、葬られないことを表徴します。私たちの古い人が対処され葬られてはじめて、私たちは私たちの享受のために、良き地としてのすべてを含むキリストを所有する地位にあります。**4.** ルベン、ガド、マナセの半部族に与えられた地は、彼らの選択にしたがった地であり、ヨルダン川を渡ることなく到達することができ、こうして実はカナンの良き地の一部ではありませんでした。これは、予表において、それがキリストの死の外にあったことを示します。 **水木**

5. エホバに対する、またイスラエルに対するルベンとガドの責任は、彼らが自分の地の分け前に関する自分自身の選択を持っていたという事実によりました。私たちは主に仕えるとき、自分自身の選択を放棄することを学び、神と神の民に対する責任を負わせられることを免れる必要があります。**民32:1** さて、ルベンの子たちとガドの子たちは、おびただしい数の家畜を持っていた。彼らがヤゼル地とギレアデ地を見ると、その場所は実に家畜に適した場所であった。**2** ガドの子たちとルベンの子たちは、モーセと祭司エレアザルと集団の族長たちの所に来て語って言った、**3** 「アタロテとデボンとヤゼルとニムラとヘシボンとエレアレとシバムとネボとベオン、**4** これらエホバがイスラエルの集団の前で打ち取った地は、家畜に適した地であり、しもべ

もは家畜を持っています」。5 また、彼らは言った、「もしあなたの目に好意を得たのでしたら、この地をしもべどもに所有として与えてください。私たちにヨルダン川を渡らせないでください」。6 そこで、モーセはガドの子たちとルベンの子たちに言った、「あなたがたの兄弟たちが戦いに行くのに、あなたがたはここにとどまろうとするのか？

民32:19 私たちはヨルダン川を越えた向こうで、彼らと共に相続しません。私たちの嗣業は、ヨルダン川の東のこちら側になっているからです」。20 そこで、モーセは彼らに言った、「あなたがたがこのことを行なおうとするなら、エホバの御前で戦いのために武装し、21 あなたがたの武装した者がみなエホバの御前でヨルダン川を渡り、ついに彼がご自分の敵を御前から追い払われて、22 その地がエホバの御前に征服された後、あなたがたが帰って来るなら、エホバに対してもイスラエルに対しても責任が解かれる。そしてこの地はエホバの御前であなたがたの所有となる。

6. このように、私たちの自分の選択はキリストの死の外にあり、それゆえに、豊富なキリストに対する真の享受とは何の関係ありません。もし私たちがキリストの死を経過しないなら、彼の復活と昇天の領域の中へと入って、天的で、高く上げられた方としての彼を享受することはできません。ガラテヤ2:20 私はキリストと共に十字架につけられました。生きているのはもはや私ではありません。キリストが私の中に生きておられるのです。(木曜日の御言葉)

E. 「ヨルダン川の東の地」を得ることは、神の霊的な目標には到達しても、神の栄光の目標には到達しません。神の栄光の目標とは、キリストの昇天の地位において、キリストにある豊富な嗣業、すなわちキリストの豊富な栄光を受けることです。

ルカ22:42 こう言われた、「父よ、みこころでしたら、この杯を私から取り去ってください。しかし、私の意のままではなく、あなたのみこころが行なわれますように」。

詩16:6 測り縄は、私のために喜ばしい所に落ちた。まことに、この嗣業は私にとって美しい。

歴代上5:26 …イスラエルの神は、アッシリアの王…の霊…を奮い立たせられた。彼はルベン人とガド人とマナセの半部族を捕囚として連れ去り、

F. ルベンの部族、ガドの部族、マナセの半部族は自分たちのことだけを考慮して、彼ら自身の享受を顧慮しすぎて、神のみこころ、ご計画、目標、王国、証しを顧慮しませんでした。

G. これが示しているのは、もし私たちが自分自身の救い、平安、祝福、財物を顧慮するだけで、進んで前進しようとしなければならぬ、神のみこころとご計画を成就したり、神の目標、王国、証しに到達したりすることができないということです。私たちは二次的な良いものを、最も良いものと置き換えるべきではありません。

H. モーセはルベンとガドの約束を承諾し、彼らが兄弟たちと共に戦い、その地を征服し、彼らの責任が解かれるなら、ヨルダン川の東の地を得ることができると告げました: 1. ここでモーセは神を代行しました。多くの時、神はそのような約束をこのように承諾します。彼は私たちに強いことはしません。2. 今日、召会の中で、主を愛し追いつめる多くの者は、ヨルダン川の東にとどまっています。彼らはただ神の祝福と顧みの下にとどまっていたいのです。

I. ルベン、ガド、マナセの半部族の選択は、彼らの子孫にカナンの地を受け継ぐ権利を失わせました:

1. これが予表するのは、もし私たちが今日、安楽と心地よさをむさぼるなら(自分自身だけを顧み、主を追い求めるという事柄で途中で止まり、自分の権利を放棄するなら)、

これらの権利を回復することができず、それらに対するいかなる補償もないということです。これは永遠の損失です。2. その反対に、私たちが今日、進んで代価を払って、神の栄光ある目標へと絶えず前進し、彼の豊満を享受するなら、将来、極めて豊富で特別な享受を得ます。

ピリピ3:13-14 兄弟たちよ、私はまだ自分自身、捕らえたとは思っていません。ただ一つの事、すなわち、後ろにあるものを忘れて、前にあるものに向かって体を伸ばしつつ、キリスト・イエスの中で私を上を召してくださった神の賞を得るために、目標に向かって追い求めています。

J. 神はキリストを私たちの分け前と定め、私たちに享受を与えましたが、私たちは神の定めと協力し、神とキリスト以外のあらゆるものを、私たちの内側から追い払わなければなりません。私たちは自分の内側にあるすべての偶像を破壊し、偶像礼拝に対していかなる地位も、私たちの内側に残さないようにしなければなりません。そのときはじめて私たちは、キリストに対する真の享受を持つことができます。それは彼の建造と彼の王国としての召会のためです。

Crucial Point(1): **すべてを含むキリストは、良き地によって予表されている。良き地の中に深く根ざし、良き地の中を歩き、成長して建造に至る:**

OL1: 今日の良き地は、すべてを含む霊としてのキリストであり、彼は私たちの霊の中に住んで、私たちの享受となっています。この霊にしたがって歩くことは、新約における中心的で極めて重要な点です。

OL2: コロサイ 2:6~7 が啓示しているのは、良き地としてのキリストが、私たちが根ざしている豊富な土壌であり、それは私たちが、土壌から吸収する要素を持って成長するためであるということです。コロサイ 2:6~7 それで、あなたがたはキリスト、主なるイエスを受け入れたのですから、すでに彼の中に根ざしており、そして建造されながら、また教えられたように信仰において堅固にされながら、感謝にあふれて、彼の中で歩きなさい。

OL3: 私たちはキリストの中に根ざしているなら、自然にキリストの中で歩きます。すなわち、キリストの中で生き、活動し、行動し、存在します。

OL4: キリストの中に深く根ざすようになる唯一の道は、主と接触し、多くの祈りをもって御言の中で彼と共に時を過ごすことです。私たちはまず下に向かって成長し、そして上に向かって実を結びます。OL5: 私たちはキリストの中で歩くとき、キリストの中で建造されてキリストを生かし出します。このようにキリストを生かし出すことは、キリストの団体の表現、すなわち召会生活を生み出します。

OL6: 毎朝私たちは十分な時間を取って、主を吸収する必要があります。十分間でも良いのですが、毎日の新しい日の開始に三十分間を費やして、彼を享受することが最も良いのです。私たちは朝、時間を費やして主と接触し、そして一日中、霊の中にいるとき、土壌としてのキリストの豊富を自然に私たちの中へと吸収します。

OL7: 私たちは時間を取って、すべてを含む地としての主を享受しなければなりません。それは、豊富な土壌としてのキリストのすべての要素が、私たちの中へと吸収され、私たちが経験の中で、彼にあつて満ち満たされるためです。

OL8: 私たちは土壌としてのキリストの豊富を吸収しようとするなら、柔らかく、新しい根を持つ必要があります。私たちは自分自身を老化させるべきではなく、毎日、新鮮で新しくされるべきです。OL9: 私たちは自分の環境、自分の状態、自分の失敗、自分の弱さを忘れ、ただ時間を取って主を吸収する必要があります。それは、私たちが彼の中で建造されて、彼のからだを建造し、彼の団体の表現となるためです。

適用: 新人編

キリストを良き地の実際として経験することで、二つのことが重要です。それは、**(1) 良き地の豊富な土壌に根ざす、(2) 良き地であるキリストの中を歩く、**です。キリストの中に深く根ざすために、毎朝少なくとも 10 分、可能であれば 30 分を聖別し、御言葉を祈り読みして主に触れ、主を吸収してください。このように毎朝復興されることは、あなたが勝利の生活をする事ができる土台となりますので、最重要です。あなたはこのことを戦略的に押さえなければならぬ重要な拠点ととらえ、必死になって押さえる必要があります。一日の生活において、多くの重要なことがあっても、クルーシャル・ポイント(最重要な点)は多くあるわけではありません。毎朝復興はあなたの霊的戦いの生活における戦略上の第一番目のクルーシャル・ポイントです。あなたは気分が悪くても体が疲れていても、気が乗らなくても、主の御名を呼び、自分を奮い立たせて主の中に深く根ざす実行を毎朝、1 年間に 365 回実行してください。そうすればあなたは徐々に命の中で成長します。この成長はあなたの学校生活やビジネス・ライフに素晴らしい数々の祝福をもたらすことができます。

毎朝復興を実行することで、多くの新人がその素晴らしい効果を証しています。

(1) 毎朝復興することで、少し早起きする良い習慣が身に付き、供給されて引き上げられるので、朝の時間を使って仕事の資格の勉強をすることができるようになりました。

(2) 毎朝復興を実行することで、主に對する飢え渴きと召会に對する飢え渴きが大幅に増加わり、主日の集會が楽しみになってきました。

(3) 毎朝復興を実行することで、忙しいので祈りの集會に行きたくないと考えていましたが、やはり行って兄弟姉妹と共に香壇の祈りをすべきであると感じました。

(4) 朝毎の復興が習慣付けられてきたので、特別な用事でできない時は心の中にムズムズとした違和感があり、御言葉を一人でも祈り読みしないといられなくなりました。

(5) 中国に帰省するので(時差 1 時間)朝毎の復興をせずに肉に従って生ぬるい生活をしようと考えていましたが、霊の中では前進するように励ます別の声がありました。兄弟姉妹の励ましもあり、帰省しても朝毎の復興を継続しようと決心しました。

祈り:「おお主イエスよ、私は良き地としてのあなたの中に根ざし、良き地の豊富を享受して成長したいです。毎朝時間を聖別し御言葉を霊を活用して祈り読みし、良き地の豊富を吸収することができますように。さらに良き地であるキリストの中を歩みます。そうすれば私は日常生活の中で多くの祝福を受けることができます。祝福を得るための戦略的拠点は、毎朝復興を毎日実行することです。ハレルヤ！」

Crucial Point(2): 自分の選択を十字架に付け、神の選択を自分の選択とすることで前進する:

OL1: ルベンとガドが、最上と思って選択したことにしたがって、神が約束した地を受けることを願ったのは、正しくありませんでした。

OL2: 霊的な事柄においては、自分の選択にしたがって行動しないで、物事を主の御手にゆだね、主の選択にしたがって彼に行なっていただくほうがはるかに良いのです。

OL3: ルベン、ガド、マナセの半部族に与えられた地は、彼らの選択にしたがった地であり、ヨルダン川を渡ることなく到達することができます。これは、予表において、それがキリストの死の外にであったことを示します。

民数記 32 章は、良き地の分配をあらかじめ案配することについて語っています。…ヨルダンの東の地に関する案配には二重の意義があります。積極的な面で、ルベンとガドの部族は、神の約束した嗣業を受けることを重んじました。しかしながら、消極的な面で、彼らは神の目標に到達する前に自分の選択をしました。神の目標はヨルダンの西側でした。民数記 34 章で良き地の境界が述べられるとき、ヨルダンの東の地は含まれていません。良き地の最上の部分は、二つの海(地中海と死海)と一つの川(ヨルダン川)に囲まれていました。これら三つの水域はキリストの死を表徴します。こういうわけで、霊的な予表において、ヨルダンの東の地は十分には良くありませんでした。なぜなら、それはキリストの死の領域の外にであったからです。二つの部族と半部族は選んで、最上のものを二番目に良いもので置き換えました。多くの時、私たちもまた自分の選択をして、最上のものの置き換えとして二番目に良いものを取ってしまいます。二つの部族と半部族が選択したのは、彼らが家畜を多く持っており、ヨルダンの東の地が家畜のために良きように見えたからです。あまりに多くの「牛」と「羊の群れ」を持つことはしばしば、自分の選択をしてしまう誘惑となり、最上のものを二番目に良いもので置き換えてしまいます。



二部族と半部族に与えられた地は、彼らの選択にしたがった地であり、ヨルダン川を渡ることなく到達することができます。これは、それがキリストの死の外にあり、こうして実は良き地の一部でなかったことを示します。私たちの

自己の選択は同じように、キリストの死の外にあり、それゆえに豊富なキリストの真の享受と何の関係もありません。もし私たちがキリストの死を経過しないなら、彼の復活と昇天の中へと入ることはできません。これは、私たちが自分自身の選択をするべきでないことを見せています。私たちは自分の選択をするときはいつでも、キリストの死の外にあり、その結果、彼の復活と昇天の領域にいて天的で、高く上げられた方としての彼を享受することはありません。

青少年・大学生編

学生の皆さんは、十字架を経験して自分の個人的な目標ではなく、神の目標をあなたの目標とすることを学んでください。ルベンとガドとマナセの半部族は、ヨルダン川を渡ることによって表徴される肉を十字架に付けることを拒絶して、良き地の外に留まることを選びました。彼らが選択した場所は良い場所でしたが、良き地ほど良くはなかったのです。

例えばあなたは大学進学などで、主と兄弟姉妹と交わり、少し高い目標を立てました。その結果成績が順調に伸び始めましたが、当初の目的にはまだ達していません。ところがあなたは途中で十分に満足してしまい、これ以上努力するのが嫌になって、小さな祝福に留まろうと自分で楽な選択を決定してしまいました。この決定はルベンの部族の決定に似ています。あなたは十字架を経験して前進することを学んでください。覚えてください、良き地の豊富はあまりにも豊かですので、良き地の豊富の享受の結果は、すばらしい祝福に満ちているはずで、自分の制限された理解による小さな祝福に留まらないように、十字架を経験して前進するようにしてください。

祈り:「おお主イエスよ、私が自分の選択による小さな祝福に留まることから救ってください。私は前進しなければなりません。肉を十字架に付け神の目標を自分の目標とします。私はルベンとガドとマナセの半部族の自分の選択による失敗から学び、警告されて、絶えず十字架を経験して前進する道を選びます。アーメン！」

Crucial Point(3):キリストと召会を人生の目標とせず、安楽と心地よさをむさぼるなら、永遠の損失を被る

OL1:最終的に、彼らの地は、東からの異邦人の侵略者によって奪い取られた、イスラエルの地の最初の部分でした。途中でとどまって、神からのわずかの祝福だけに満足している人たちは、容易に敵に捕らえられるでしょう。

OL2:ルベンの部族、ガドの部族、マナセの半部族は自分たちのことだけを考へて、彼ら自身の享受を顧慮しすぎて、神のみこころ、ご計画、目標、王国、証しを顧慮しませんでした。**OL3:**これが示しているのは、もし私たちが自分自身の救い、平安、祝福、財物を顧慮するだけで、進んで前進しようとしなければ、神のみこころとご計画を成就したり、神の目標、王国、証しに到達したりすることができないということです。私たちは二次的な良いものを、最も良いものと置き換えるべきではありません。

OL4:ルベン、ガド、マナセの半部族の選択は、彼らの子孫にカナンの地を受け継ぐ権利を失わせました。これが予表するのは、もし私たちが今日、安楽と心地よさをむさぼるなら(自分自身だけを顧み、主を追い求めるという事柄で途中で止まり、自分の権利を放棄するなら)、これらの権利を回復することができず、それらに対するいかなる補償もないということです。これは永遠の損失です。

OL5:神はキリストを私たちの分け前と定め、私たちに享受を与えましたが、私たちは神の定めと協力し、神とキリスト以外のあらゆるものを、私たちの内側から追い払わなければなりません。私たちは自分の内側にあるすべての偶像を破壊し、偶像礼拝に対していかなる地位も、私たちの内側

に残さないようにしなければなりません。そのときはじめて私たちは、キリストに対する真の享受を持つことができます。それは彼の建造と彼の王国としての召会のためです。

霊的な事柄において、私たちの選択にしたがって事を行なうのは恐ろしいことです。私たちの選択にしたがうことは何であれ、益ということにはなりません。私たちは、自分の選択が最善であると思ってもかもしれませんが、実はそれは最悪です。ですから、霊的な事柄で、私たちは努めて自分の選択にしたがって行動しないようにするべきです。物事を主の御手にゆだね、主の選択にしたがって彼に行なうていただくほうがはるかに良いのです。

列王紀と歴代志の記録によれば、イスラエルの子たちは後に失敗し、荒廃してしまいました。また捕らえられた最初の者たちは、ヨルダン川の東に住んでいた人たちでした。このことが啓示しているのは、途中でとどまって、神からのわずかな祝福だけで満足する人たちは容易に敵によって捕らえられてしまうということです。

原則は今日、私たちがキリストを享受することについても同じです。キリストは私たちの享受のために、分け前として私たちに与えられましたが、この享受を得るためには果たさなければならぬ条件があります。この条件とは、私たちが神の定めと協力し、神とキリスト以外のあらゆるものを、私たちの中から追い払うことです。これは、私たちが自分の内側にあるすべての偶像を破壊しなければならぬことを意味します。偶像とは、何であれ私たちが占有する神以外のものです。学位、良い職業、立派な家、地位や身分、名声、これらすべては、私たちが占有する偶像となり得ます。私たちは、私たちの内側にあるいかなる偶像も破壊し、偶像礼拝に対していかなる地位も、私たちの内側に残さないようにしなければなりません。私たちの中の偶像を対処していなければ、真のキリストの享受を持つことはできません。

在職青年・大学院生編

ビジネス・ライフや研究生生活が祝福されるために、あなたはキリストと召会をあなたの人生の目標とする必要があります。ですからあなたはそれらを優先順位 No.1 とするべきです。同時に主をあなたのクリスチャン生活の戦いにおける将軍、クリスチャン生活と召会生活の道筋におけるガイドとして経験してください。

あなたは決して大きな家に住むこと、人から名声を得ることなどをあなたの目標としてはいけません。もしそうするならば、あなたは容易に敵に捕らえられるでしょう。このような目標をあなたの人生の目標とすることは、極めて危険なことです。

栄華の極みを享受したソロモン王は伝道の書で「空の空、空の空、すべては空である(1:2)」と言った後、続く雅歌で、「歌の中の歌、これはソロモンの歌である。彼の口の口づけをもって私に口づけしてください！あなたの愛はぶどう酒に勝るのです(1:1~2)」と言って主を愛することだけが空ではなく、満足であることを啓示しています。

あなたは十字架を負って前進すれば、良き地の中に入り、良き地の豊富を享受して、神のエコノミーのゴールであるキリストのからだの建造に分を持ちます。これが神の永遠のエコノミーです。あなたが神の永遠のエコノミーに分があるとは、何とすばらしいことでしょうか！

祈り:「おお主イエスよ、あなたを私の戦いにおける将軍、人生の道筋におけるガイドとします。キリストと召会を私の人生の目標とします。十字架を負って前進し、良き地の豊富を享受して、神のエコノミーのゴールであるキリストのからだの建造に分を持てることを感謝します！」